

農水省、防疫指針改定へ

鳥インフル、豚熱続発で

農林水産省は19日、昨秋以降の鳥インフルエンザや豚熱(CSF)続発を受け、感染拡大を防ぐための防疫指針や、家禽の管理方法を定めた飼養衛生管理基準を改定する方針を決めた。衛生管理の順守を補助金交付の要件に加えたり、大規模農場での発生時の対応計画を事前に策定したりするなどの対応を盛り込む。

鳥インフルエンザの流行

ワクチン接種した養豚場者や獣医師の危機意識が低
での感染が相次いでいる豚下している」とし、衛生管
熱対策も見直す。農水省は理の徹底を促す取り組みを
ワクチンを過信して「生産」検討する。

期となる今秋までの改定を
目指す。野上浩太郎農相は
19日の防疫対策本部の会合
で「これまでも衛生管理の
順守を呼び掛けてきたが、
生産者によって大きな差が
ある」と指摘した。202
0年度の鳥インフルエンザ
での殺処分数は過去最多と
なり、鶏の埋却地確保など
事前の計画が不十分で防疫
作業が長期化したり、自衛
隊の派遣が相次いだりした
ことを問題視した。